

# 物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

## 事例番号787

発生場所	救急外来	精神・意識障害の有無	リスク B. 物の性能のリスク
発生場所（その他） -		無	
関連したもの	標識・表記、機器	発生内容の分類 医療機器等	

### 発生内容

酸素の中央配管の圧力上限アラーム発報とその対応に難渋した事例

### 概要

日曜日午前2時、救急外来の医療ガスモニターアラームの酸素の圧力が上限に達したことを知らせるアラームが発報した。上限値の発報であったため、夜勤看護師が診察室4部屋から5リットルずつ酸素を大気中に開放した結果アラームが停止した（マニュアルに無い対応）。なお、発報したアラームは救急外来のみ。

### 要因

医療ガス設備業者による点検の結果、設備そのものには異常は無かった。当院のように配管の距離が長い場合や気温が低下する冬などで、かつ、酸素の使用量が少ない夜間帯などに、部分的に圧力が上限に達することがあるとの事だった。また、定期に行う医療ガス設備点検は適切に実施され、直近の点検でも異常は認めていない。

### 対策

配管の設定圧力を（法定の範囲内で）、詳細に調整を行いその後数か月間発報は無い。今後も適切に医療ガス設備点検を行うこととした。

### 参照